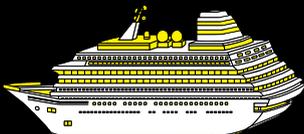
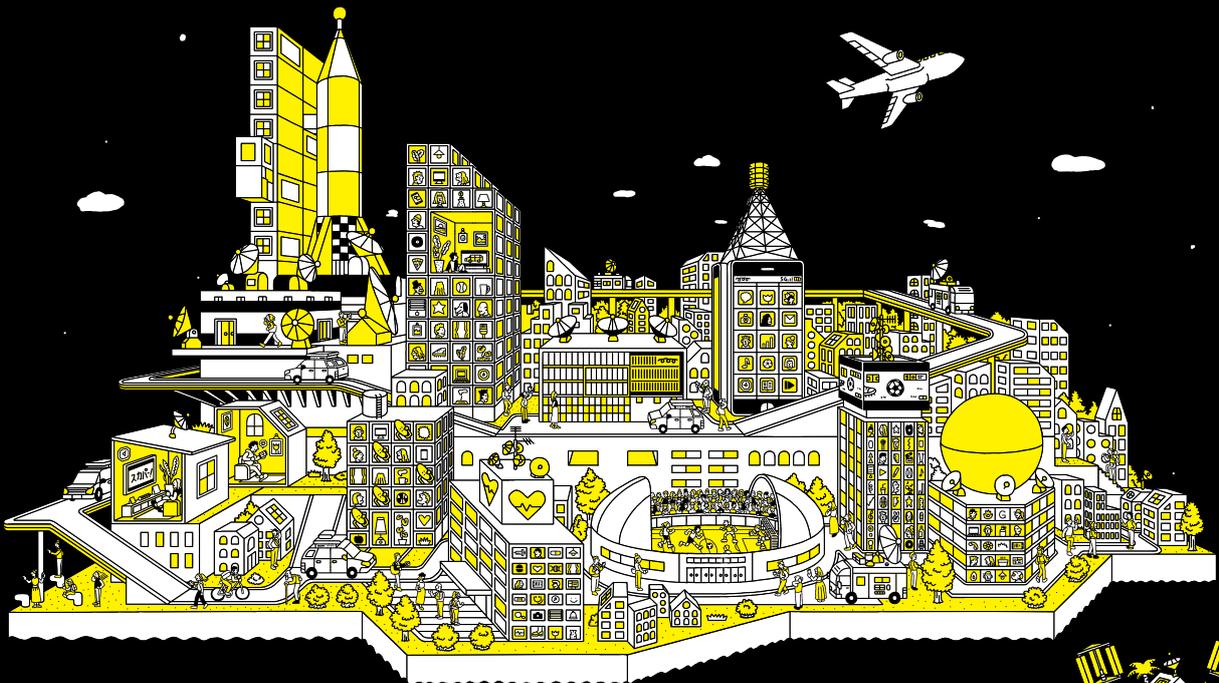


2022年3月期 証券コード:9412

株主通信



株式会社スカパーJSATホールディングス





代表取締役社長
米倉 英一
Eiichi Yonekura

新領域へ積極的に投資していくことで基礎収益力を高め、
サステナブルな成長を目指します。

Q1 当期(2022年3月期)の業績についてお聞かせください。

2022年3月期の営業収益は、前期比14.3%減収となる1,196億円となりましたが、これは「収益認識に関する会計基準」等の適用の影響によるものが大きく、概ね計画通りです。一方利益面では、前期比若干の減益となったものの、宇宙事業におけるHorizons 3eの顧客獲得や新領域事業の拡大、メディア事業における費用の抑制等により営業利益189億円、経常利益203億円となり、期初の計画を上回ることができました。また、連結子会社の解散に伴い税金費用が減少したことにより、親会社株

主に帰属する当期純利益は146億円と前期比増益となり、計画を達成することができました。

Q2 2023年3月期の取り組みについて教えてください。

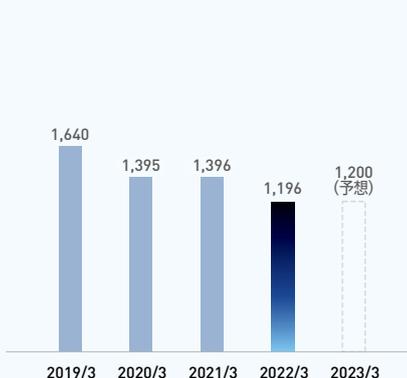
宇宙事業では、JCSAT-1CやHorizons 3e等の収容余力のある衛星での顧客獲得拡大及び新領域ビジネスの伸長による増収に加え、衛星減価償却費やのれん償却費の減少等により、増益を見込みます。一方、メディア事業においては、選択と集中を進め、構造改革による費用の効率化等により筋肉質化を推進しますが、ヒト・モノ・資金

のリソースの新領域事業への投入や、加入件数の減少傾向を踏まえ、減収減益を見込んでおります。その結果、2023年3月期の連結営業収益は前年同水準の1,200億円、営業利益、経常利益はそれぞれ210億円、215億円、親会社株主に帰属する当期純利益は150億円と増収増益の見通しです。

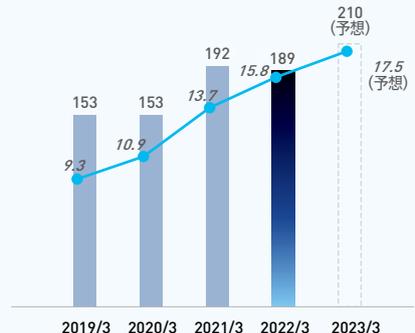
Q3 価値創造ストーリーについて教えてください。

当社はこれまで、通信、放送という公共性の高い事業を営んできたことから、経営の透明性に基づく事業の継続を強く意識してまいりました。いま、時代は

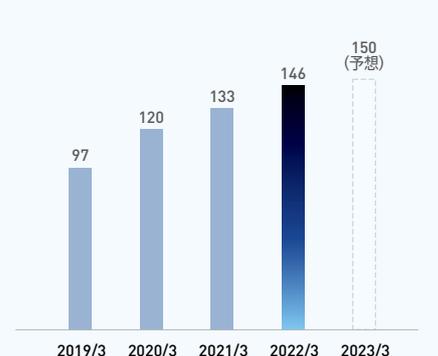
▶ 営業収益 **1,196** 億円



▶ 営業利益 **189** 億円
営業利益率 **15.8** %



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 **146** 億円



*四捨五入で表記しております

変わり、気候変動をはじめとするさまざまな社会問題にも目を向けながら成長し続けることが期待されています。価値創造ストーリーは、2030年、さらにその先の未来に向けて、我々が社会に対して何をなしえながら成長し続けていくのかをお示したものです。当社の経営資源を活用し、9つの重要課題(マテリアリティ)テーマに向かって事業ビジョンを実現することで、経済的価値、社会的価値を創り続けていきたいと考えています。

詳しくは3-4p

Q4 2030年の成長に向けた投資について教えてください。

現在当社事業を取り巻く環境は、技術やサービスのみならず、パートナーや競合他社の状況等を含め、急速に変化しています。これからも成長し続けるために、既存事業での生産性を高め継続

して高水準の利益を出していくとともに、これまでにない規模で成長に向けた投資・M&Aを行い、250億円を超える親会社株主に帰属する当期純利益を生み出せる会社を目指してまいります。

両事業とも、技術・サービスの開発を推進し、既存事業の枠を超えて新たな事業を発展させるために、今後5年間は2030年に向けた足固めの時期と位置づけます。静止衛星や顧客管理システム等、既存事業の収益向上・利益改善のための投資に約1,000億円、さらには事業投資を含めた成長への投資として1,200億円規模の資金投下を行っていく予定です。

詳しくは5-6p

Q5 株主の皆様メッセージをお願いします。

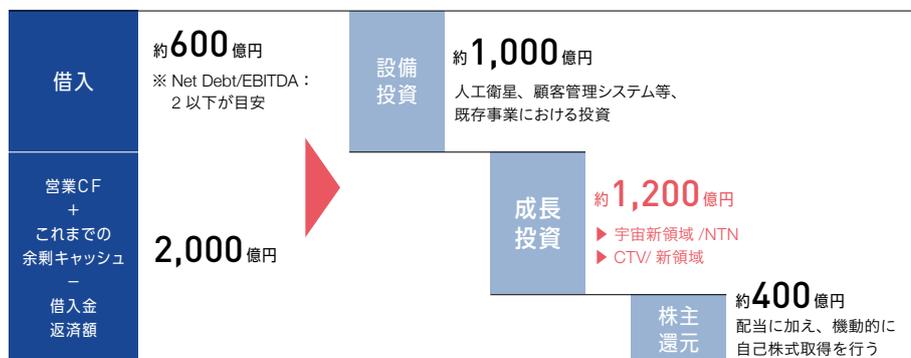
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルス感染症への不安も続くなか、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢など、ご不安な日々をお過ごしの方も多いと思います。

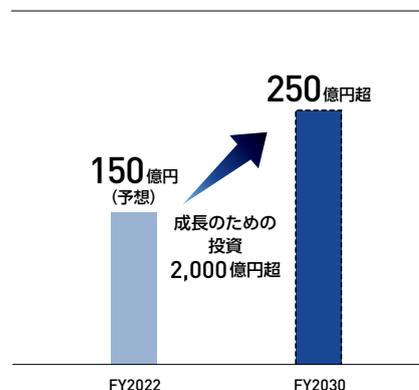
今回、2030年の成長に向けて、かつてない規模での投資規模をお示しましたが、投資は事業面での精査に加え、財務面の安定性も十分考慮の上で行ってまいります。同時に、株主の皆様への配当と機動的な自己株式取得とを合わせて約400億円の株主還元を実施することもお示しております。

2030年、さらにその先も当社が社会に価値を生み出し続け、成長し続けていくために、引き続き、株主の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

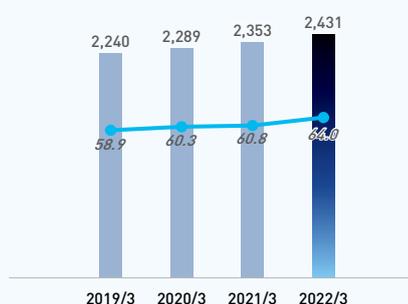
今後5年間のキャピタルアロケーション



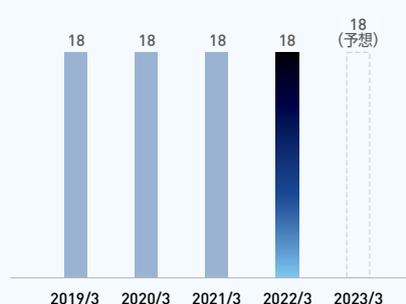
2030年に向けて



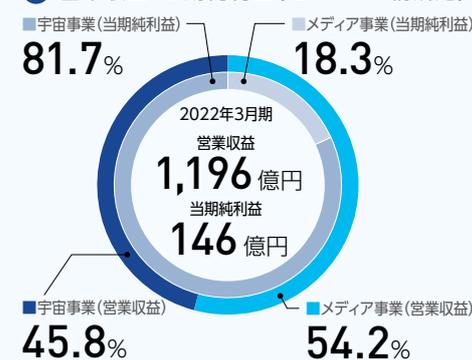
純資産 2,431億円
自己資本比率 64.0%



1株当たり配当金 18円



営業収益・当期純利益 (セグメント構成比)



* 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を意味しております。
* 営業収益、親会社株主に帰属する当期純利益の構成比は、セグメント間の取引及び調整額を含んで算出しております。



価値創造ストーリー

サステナビリティ方針“Space for your Smile”のもと、
事業ビジョンの実現を通じて社会的価値を提供し、成長し続けます。

競争優位性の高い 良質な経営資源

宇宙をフィールドとする 30年の実績と信頼

- ▶ 日本、アジア、北米、欧州等でのグローバルな事業展開
- ▶ 官公庁や地方自治体、インフラ企業等との信頼関係
- ▶ スカパー!契約者数:約240万人

技術やノウハウを持った 多様な人財

- ▶ 衛星通信関連ノウハウ
- ▶ 放送・配信関連ノウハウ
- ▶ 連結従業員数:841名

安定した財務基盤

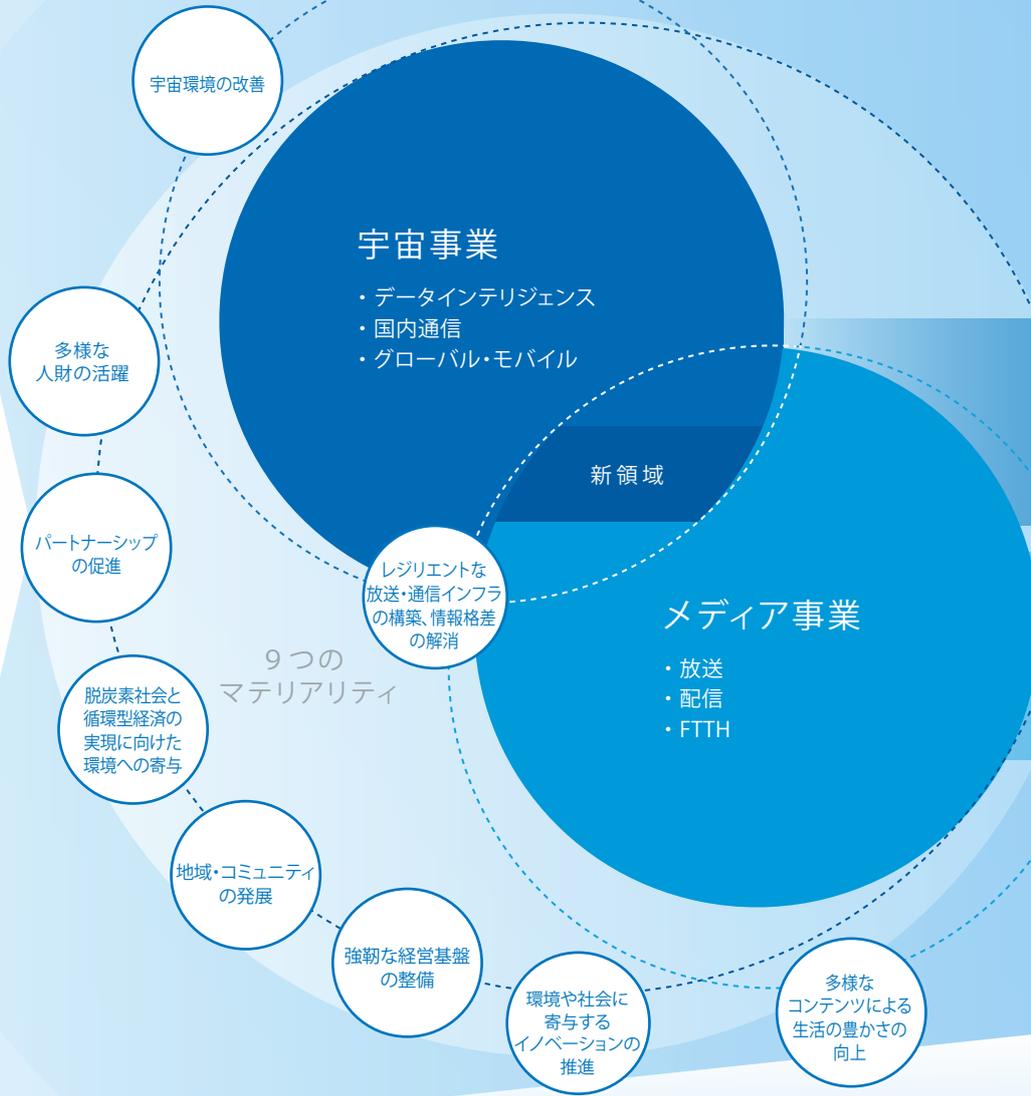
- ▶ 自己資本(純資産):2,430億円
- ▶ 自己資本比率:64%
- ▶ 長期格付:A(R&I, JCR)

主要な設備

- ▶ 衛星保有機数:16機
- ▶ 衛星通信関連設備:国内7拠点
- ▶ スカパー東京メディアセンター
- ▶ スカパー!カスタマーセンター

事業戦略の焦点

既存事業の構造改革で利益改善を進めるとともに、
共創により新領域での事業推進を図る



社会の変化(見据えるべき外部環境)

環境意識の高まり

技術革新の進展

消費志向の変容

企業ブランディング活動のお知らせ



女優・芦田愛菜さんが演じる「スカパーージェイサツ子」が

スカパーJSATは、さらなる企業価値の向上に向け、2020年より『未知を、価値に。』をブランドスローガンに掲げた企業ブランディング活動に取り組んでまいりました。

当社が宇宙実業社として挑み続けている姿を、具体的な事業内容をご紹介することで理解を深めていただくべく、テレビCM等を通じて企業ブランディング活動を本格化しています。

芦田愛菜さん演じる「スカパーージェイサツ子」が、空から舞い降りては、スカパーJSATの仕事を地球の人々に伝えていきます。

サステナビリティ経営が拓く未来 Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

事業戦略の先に 見据えるビジョン

すべての空間を対象とした革新的な
通信ネットワーク及び地球規模の
データ収集ネットワークを構築

人と人、企業、社会をつなぐ
プラットフォームを提供

経済的価値

2030年目標
当期純利益250億円超

社会的価値

超スマート社会(Society5.0)の
実現に貢献

多様で創造性豊かな
社会の実現に貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サイバーセキュリティ
リスクの増大

地政学リスクの高まり

etc.

スカパーJSATの事業内容をわかりやすくご紹介！

また、ブランドサイト「『未知を、価値に。』通信」では、スカパーJSATが現在進行形で取り組んでいる様々な事業、活動内容をわかりやすくお伝えしていきます。

サイト内では、芦田愛菜さん出演のCMや、アニメ版のCMも公開されていますので、ぜひサイトにアクセスの上、ご覧ください。

ブランドサイトトップ

「未知を、価値に。」通信
宇宙実業社 スカパー JSAT ブランドサイト
<https://www.skyperfectjsat.space/brand/michikachi/>



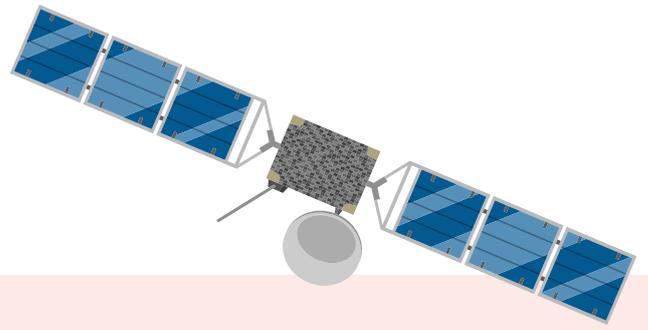
企業CM集

<https://www.skyperfectjsat.space/brand/michikachi/cm/>



宇宙事業

SPACE BUSINESS



2022年3月期の取り組み

ハイスループット衛星(従来よりも伝送容量を大幅に拡張した衛星。以下「HTS」という。)のJCSAT-1Cは、航空機内Wi-Fiに向けたサービスの提供を開始しました。今後も、インドネシアのデジタルデバインド地域における通信利用や、2022年1月より提供を開始した超高速海洋ブロードバンドサービス「JSAT Marine」における活用など、同じくHTSであるHorizons 3eとともに収益の拡大を見込んでおります。また、2022年1月には、アジア地域での事業展開強化のため、アジア事業部及びシンガポール支店を開設しました。船舶・航空機など移動体向けの通信需要やアジア地域の通信需要を確実に取り込み、グローバル・モバイル事業のさらなる成長につなげてまいります。

既存事業の強化に加え、新しい事業への取り組みも進めています。2021年12月には、(株)QPS研究所のシリーズBラウンドにおいてリード投資家として資本参加するとともに、低軌道の小型SAR(Synthetic Aperture Radar:合成開口レーダー)衛星コンステレーションから得られるデータを活用した新たなサービスを創出することを目指し、業務提携契約を締結しました。両社のアセット及びサービス基盤やノウハウ等での連携を強化し、衛星データ事業の発展を目指します。

『宇宙事業ビジョン』～ Society 5.0 実現に向けて ～



成長への取り組み

日本でもBeyond 5G/6Gが推進され、Society 5.0として目指す社会が提言されています。この未来社会では、フィジカル空間とサイバー空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題を解決していくことが期待されています。

スカパーJSATは、こうした大きな流れを成長の機会ととらえ、積極的に参入し、Society 5.0の実現に貢献することを目指しています。そして、10年先の未来におけるあるべき姿として「宇宙事業ビジョン」を策定しました。膨大なデータがリアルタイムで行き来する社会において必要不可欠となる地球規模の通信インフラとしての「Universal NTN(Non-Terrestrial Network:非地上系ネットワーク)」や「光データ中継」、宇宙からデータを収集・解析処理する「データインテリジェンス」を中心に、2030年に向けて1,500億円規模の積極的な投資を行ってまいります。

2022年4月には、「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」事業の実現を目指し、日本電信電話(株)と新会社「(株)Space Compass」の設立について合意、契約を締結しました。新たな宇宙インフラの構築に挑戦し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

メディア事業

MEDIA BUSINESS



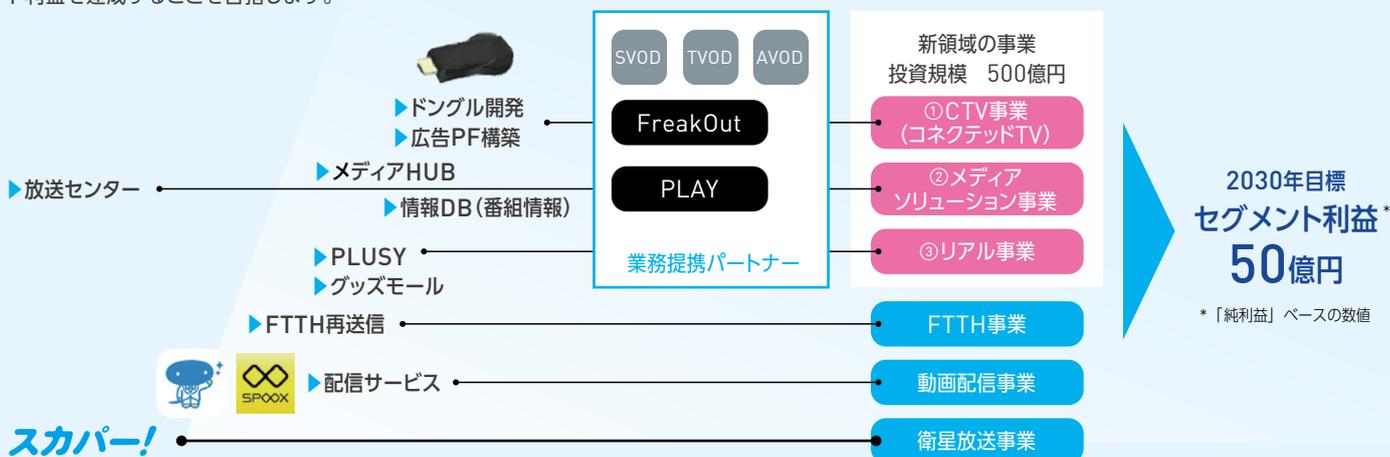
2022年3月期の取り組み

既存事業では、スポーツにおいて、昨シーズンに引き続き2021年シーズンも「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信いたしました。「スカパー!基本プラン」は、視聴料割引キャンペーンの効果もあり、契約件数が増加しました。光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスでは、提供エリアを着実に拡大しており、提供可能世帯数は2022年3月末時点で35都道府県・約3,400万世帯に達しています。加えて新たな取り組みとしましては、「スカパー!オンデマンド」をリニューアルし、有料配信は「SPOOX」(スプークス)、放送契約者向けの無料配信は「スカパー!番組配信」として10月にサービスを開始しました。また、2022年2月には映画、ドラマ、アニメなど約3万本が見放題となる新商品「バリュープラン Powered by ひかりTV」を発売しました。

将来的なコネクテッドTV領域における協業を目指し、2021年9月に(株)フリークアウト・ホールディングスに出資した他、2022年2月には映像コンテンツ業界のDX推進に貢献すべく、作品名・出演者・サムネイル・説明文などの情報をデジタル化して体系的に整備した業界横断のコンテンツデータベース構築に着手しています。

メディア事業 成長のストーリー

メディア事業ではこれまで、皆様に映像を通じた体験をお届けしてまいりました。これからは、さらにその先にあるファンの体験を拡張させ、その実現に向け、積極的な業務提携を含む、新領域への投資を集中させてまいります。下記①～③の新領域に積極的に投資を行い、2030年には50億円のセグメント利益を達成することを目指します。



成長への取り組み

- ①コネクテッドTV事業——様々な動画配信サービス(SVOD、TVOD、AVOD等)をテレビで視聴できる端末「ドングル」を開発しており、現在パートナーとの連携を図っています。また、フリークアウト社との業務提携を通じて、個人の嗜好や行動のデータを利活用した新たな広告手法の検討など、広告プラットフォームの構築にも取り組んでいます。
- ②メディアソリューション事業——当社が保有する有形無形のアセットを活用し、企業の課題解決となるソリューション事業を展開していきます。「コンテンツデータベース」の構築にも取り組み、映像ビジネスの効率化と普及を促進していきたいと考えています。
- ③リアル事業——ファンミーティング、イベント、グッズ販売、ツアー施策、といったリアルの感動を届けます。将来的には、フィジカル空間とサイバー空間を高度に融合させた、新たなリアル体験の構築も視野に入れて活動してまいります。

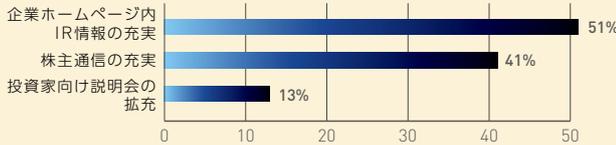
第15回 株主様アンケート結果のご報告

回答数: 1,935件



第15回株主アンケートへのご回答ありがとうございました。「当社のIR(投資家向け広報)活動に期待することは何ですか」という質問に対してお寄せいただいたご意見を、改善点を含め、ご紹介させていただきます。

IR活動に期待することトップ3



1位「当社企業ホームページ内IR情報の充実」

昨年、サステナビリティページを公開しました。また、これまで作成していたアニュアルレポートを進化させ統合報告書を作成しました。(ホームページ内にオンライン版もございます。)IRページでは、適宜最新情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。 <https://www.skyperfectjsat.space/ir/>



2位「株主通信の充実」

「セグメント別構成比の掲載」

セグメント別の「営業収益」と「セグメント利益」を円グラフにしました。

「株主構成の掲載」

「会社概要」欄に、「株主構成」を加えました。

「文字が多い」「読みづらさ」

社長インタビューはQA形式に、見出しを目立ちやすく、行間に余裕をもたせ読みやすく、業績グラフの文字要素を減らしすっきりとしました。

3位「投資家向け説明会の拡充」

コロナ前にはオフラインで行っていた個人投資家向けの説明会を、昨年度よりオンラインで開催しております。遠方の方やお忙しい方でも参加しやすくなっております。
<https://www.skyperfectjsat.space/ir/individual/>



「株主の皆様には、日頃より格別なご高配を賜り、誠にありがとうございます。今回の株主通信はいかがでしたか? 目指す未来や解決すべき課題への取り組みについてご理解をいただけましたら幸いです。今後も皆様からのご意見をもとに、ご満足いただけるような情報開示を行ってまいります。」

会社概要 (2022年6月24日現在)

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	10,081百万円
従業員数	841名(連結) (2022年3月31日現在)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)

株主構成 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,450,000,000株
発行済株式の総数	297,040,212株
株主数	38,995名

株式分布状況



取締役・監査役

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役社長	米倉 英一	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役	福岡 徹		藤原 洋
取締役	小川 正人		大賀 公子
	松谷 浩一		清水 賢治
		監査役	於保 浩之
			大江 淳彦
			小川 晃
		監査役(非常勤)	高橋 勉
			大友 淳

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

お問合せ先

お取扱窓口	証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問い合わせください。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ信託銀行本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行本店および全国各支店 みずほ銀行本店および全国各支店

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

